

見てください無垢の凄さを



上記の写真は茨城県にお住まいの稲葉さんと言うお客様に買っていただいたタモの耳付き板で製作した家具です。素晴らしい木の風合いが出ていて最高の仕上がりだと私は思います。

私は普通の材木屋です。原木、製材品を買い付けて必要なお客様に必要な形で販売しているのが日常の仕事です。普段は商いの事しか考えていませんが、お客様から服部商店の材で作った作品が希望どおりに出来上がりましたと喜んで頂きその写真を送っていただいて凄く嬉しく思います。

私は原木なり製材品に目利きと言う命を吹き込むのが仕事です。その製材品が新たな方から命『自分でデザインし必要としている物に作り上げる』を吹き込まれ、出来上がった姿を見たとき凄く感動を覚えるのは何故なのでしょう。

皆様は不思議に思いませんか。私は凄く不思議に思いますが、これをよくよく考えてみるとこの価値こそが無垢の価値ではないかと思えます。私はこの価値こそ今の世の中に求められているのではないかと思えます。

無垢とはただの板です。そのままならただの有機物であって消費者に何も感動を与えません。しかし作り手が、使い方に合わせたデザインをして心を込めて作り上げた物はただ単なる物ではなく、真心の入魂された生活に必要な物に生まれ変わるのだと思えます。だから我々に感動を与えるのだと思えます。本当は無垢が我々の心を読み取るのではないかと思えます。

私はお客様に満足して頂けるよう目利きと言う命を注いでいます。適材適所に使える様に製材をして買っていただいておりますが何分完成品を見せて頂く事は少ないです。そしてお客様から喜びのお便りを知らせて頂くのも少ないですが、上記の様な写真をお送り頂き、材木屋として無垢の凄さを改めて実感し、決して人工物では味わえない無垢の木材の素晴らしさを扱える事に感謝しなければいけないと思えます。

世の中がどんなにハイテク化しても、決して人工物からは安らぎ・癒しは享受出来ません。安らぎ・癒しは無垢の木材以外は決して醸し出さないと思えます。

無垢の木は向こうから決して話はしてくれません。しかしこちらから話が出来たとき素晴らしい味わいを醸し出すのが無垢だと思えます。

ロシア産製材品の品質はまだまだ

神戸にロシア産ナラの板の製材品（34ミリ厚の板）が新しいルートで入ってくるから見て欲しいとオファーが来てポートアイランドに出かけました。この製材品を製材する前の原木の写真は以前に見せていただいたので期待していましたが、見せていただくと原木が素晴らしいのに製材技術が劣る為に今の日本のマーケットで喜ばれる商品では有りませんでした。下にその品質の劣る事用途に合わせて説明させて下さい。

- 1、中空になっていない。→階段の踏み板にする時段板の不揃いに繋がり大変見苦しい。
- 2、板の巾が狭い。→木取りする時の歩留まりが凄く悪い。
- 3、柾目なのか板目なのか解からない。→建具等の狂いが少ない用途に使えない。
- 4、厚みが揃っていない。→荒木34ミリなら仕上がりは最低28ミリが望まれるが仕上がらない。

私は見せて頂いているので多少のアドバイスはしましたが、先方は工場の能率上の問題が有るから日本流の製材は出来ないと言っていました、このような商品では木がかわいそうだと思います。

良くないロシア産ナラ現地挽き製材品↓

現地の良質のロシア産ナラ原木↓



服部商店製材ナラ34ミリ板↓



名古屋の広葉樹市で買い付けたロシア産原木↓



原木を比較するとロシア産原木が良いのが解かります。又原木の大きさ芯の出来も良好です。しかし何故ロシア産製材品が、原木が良いにも拘わらず、製材品の品質が劣るのかは下記のように思います。

中途半端な能率優先主義で世界の広葉樹の価格と等級のつけ方を全く理解出来ない事が主な原因だと私は思います。以前の服部新聞で南洋材の事を取り上げた事が有りましたが、その記事の中で大きくなったシッパーは日本人の指導を受け何処の国にも輸出出来るノウハウを身に付け大きくなった。と書きましたが、ロシア人は多分日本人の言う事を中々聞かないと思います。その理由は多分木に対する文化の違いだと思います。

ロシア人は無垢のナラ材を多く使っています。そして見事な家具を作っています。しかし彼らは余りに多くの木材資源を多く持っているため、木材製品の品質には無頓着だと想像出来ます。その点アメリカシッパーは賢いです。日本向けもヨーロッパ向けも同じ企画（*NHLルール）にしています。品質的には日本流の製材品には少し劣るが値段はそれ以上に安い価格設定にして価格競争力の有る製材品にしています。

* NHLルールに関しては以前の服部新聞を参考にして下さい。ここでの説明は簡素にします。等級FASは日本では一番上の等級ですがアメリカはファーストアンドセカンドつまり1・2等込みの等級です。

松本クラフトフェア

5月30日から31日に長野県松本市で開催された第25回クラフトフェアに初めて出掛けてきました。そこで、大阪では味わえない多くの貴重な経験をしました。

最初の驚きは、来場者が今年は15万人位多ければ20万人相当集まる、と言うことです。朝から大勢の人で埋め尽くされていました。来場者の層は東京、名古屋だけでなく日本全国の方達ですよと言われていました。会場は一日中大勢の方で賑わい、広い公園は人で埋め尽くされていました。私は会場に朝11時から夕方4時まででしたが、次から次へとお客様は来られていました。参考に3年前に無くなった大阪府堺市の美原木材フェスティバルの来場者は2日間で約1万5千人から多くて2万人です。驚きの10倍ですね。

そして次に驚かせたのは出品者の工芸品のデザインと創作の技術が非常に高いことでした。ロクロの工作にしても凄く美しく正確に作られていました。茶筒を触ったのですが、蓋と本体の密着度のコンマ幾らの精度に驚きました。この事を出品していらっしゃる方にお聞きするとそれ位は当たり前ですよ。と言う何気ない返事の凄さ。それにも重ねて驚嘆しました。

そして来場され購入されるお客様のクオリティの高さにも驚きました。こだわりの物作りの技術で作られた物を正しく評価する目を持った方達ばかりで、値段を値切る方は1人もいない事にも驚かされました。大阪なら考えられない事ですが、関東は大阪と違い価格を高く表示した方が売れやすい。と、昔聞いた事は有りますが、決してそう言う浅はかな事では有りません。手抜きして安く作った物はいずれバレ、そして市場から退出しなくてはいけなくなります、と言われていました。

そして一番の驚きは昨年度の24回まで民間が主体で開催し盛り上げて来たのです。官に世話にならず市民を巻き込んでやってきたからこそ、決して即売会だけでなく、全国のバイヤーの方が多く来場され主催者も来場者も出品者も恩恵を享受出来たのだと思います。そして今年になって遅ればせ行政が応援しなくてはならない様になったとの事でした。民間に出来る事は民間に任ずと言う事はこのクラフトフェアが素晴らしいお手本になると思います。これが経済の本当の民間活力の有効利用で有って、麻生総理の言う子供マンガ館を建てるという事だけでは日本の文化の継承には繋がらないと、松本のクラフトフェアは言っていると思います。



我々木材業者も木材振興の為に木材祭りを開催していますが、最初から自治体等に御願いし開催しています。行政とのかかわり方の違いは松本クラフトフェアとは全く違い、物凄く見習う必要が有ると思います。

左記の物は**曲げ輪っば**と言われる工芸品ですが、驚くのは作り手の方が他社に真似されても、全く気にせずどんどん真似をしてくれても構いません。と言うお言葉です。何故真似してくれても良いのですかとお聞きすると、真似はこの商品を分解して中身を見て分析くらいしか出来ないでしょう。根幹の工夫・技術は全く見えないのです。そこの所を買ってくれるお客様が全て理解してくれているからライバルではないのですよ。とあっさり仰る言葉の凄さなのです。確かに同じ物が同じ会場で販売されていました。

我々自身で行なえる事は官に必要以上依存しないが、官は国民の幸福を守る義務は有る。

政府自民党は年金問題、後期高齢者医療の問題等々税制の抜本改革は景気が回復するまで消費税を含む税制の抜本的な見直しはしない、当面国の累積赤字が増えるのは仕方がない。と言う言い方をしますが、何が抜本的改革なのか我々が全く見えていない事が我々国民に将来不安を抱かす事に繋がっているのではと思うのは考えすぎでしょうか。

私は決して自民党支持でもなければ民主党支持でも有りません。1億2千万人のただの1人です。我々国民は善良な納税者です。しかし納めた税金がどうやら正しく使われていないのではないかと危惧してそれが内需の弱さに結びつき経済の悪化に繋がっていると考えるのは考えすぎでしょうか。

ところで大阪は現在市長も知事も民間人になっています。と言う事は政権交代したと私は考えています。市長・知事と総理大臣の権力構造は多少違いますが、官僚OBから民間人に交代して色々な行政の怠慢が見えてきたのは事実だと思います。政府の直轄事業負担金の問題は言わば政権交代して情報公開をせざるを得なくなった光明だと思います。大阪市長・大阪府知事様情報公開に頑張って取り組んで下さい

先ほどの記事の松本のクラフトフェアでも触れましたが、官に依存しなくて民間の力で経済は生き生きと循環し発展するのですが、全てを民間に任すのは無理だと思います。

官はたまにどうしても無い怠慢を起こします。昨年の金融危機がアメリカで勃発した当時財務大臣は、日本は、蜂に刺された位で大した問題では無い。と言い方をしてから僅かの時間で大不況に襲われ、トヨタが2兆円の黒字から大幅な赤字に陥りそして派遣社員の大規模な首切りを行ったと全てのマスコミは取り上げましたが、本当の社会不安の報道は五月の最終週のNHKのクローズアップ現代と言う番組が最初だと思います。又その社会不安を報道するのは公的なマスメディアの報道だけで民間の報道は全く取り上げていないと思います。本当の社会不安とは富士ハウスの問題です。

クローズアップ現代は、静岡の富士ハウスの倒産で1700人もの被害者『借金は残ったが家は建たない大勢の善良な方達を生んでしまった。』が出たと報道していましたが、公的な報道の為にこの問題は行政府及び立法府の怠慢だとは直接言えず、注文住宅の販売の商慣習を巧みに考えた物だと言っていると思いました。しかしそうではないと思います。私は富士ハウスの問題は立法府及び行政府の怠慢のせいだと思って仕方が有りません。というのは、富士ハウスの詐欺的な住宅販売を取り締まれ無かったし、金融機関は悪質な富士ハウスへの融資は最後まで黙って続けていて、損失は全く負担しなくても良い体制をとり続けたと静岡の知り合いから聞いているからです。

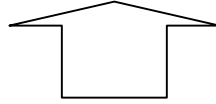
官の怠慢の為に御施主様に本当の安らぎを醸し出す注文住宅を設計している建築士さん、その設計する住まいを作る町の中小の工務店さん、それをバックアップして現場で仕事をする大工さん、左官屋さん等の方々の雇用が危なくなり、倒産に見舞われるようになっていくのを放置する事は正しい行政府・立法府のあり方でしょうか。間違っていると思います。

行政府・立法府の怠慢が富士ハウス等の問題（富士ハウスだけで被害総額50億円相当）を惹起したのは事実だと思います。こう言う過ちをしたのなら、超法規的処理をして欲しいと私は思います。35年昔当時の福田赳夫首相が1975年(昭和50年)8月4日に日本赤軍によるクアラルンプールのアメリカ大使館占拠事件の超法規的処理で坂東国男らを開放して日本人全員の幸福を守って、我々国民の幸福に繋がっているのは事実だと思います。とりあえず迅速に超法規的処理で善良な方達の問題を解決し、其の後法律の不備で富士ハウスの問題が二度と起こらない様に注文住宅のお金の支払い方法を商習慣では無く法律で明記してお施主様・建築士・工務店・協力会社皆が幸せになる法的整備を施して欲しいと思います。

勉強会のアンケートを御願ひします。

過去に4回勉強会で原木の製材を見ていただきましたが、今年の不況は深刻です。昨年に比較して製材する原木の予定は全く出来ていません。仕入れする原木は少なくなっています。何とか他の企画で、勉強会を開催したいと思っています。勉強会で原木の製材以外の事で取り上げる事が無いかと思いアンケートをお願いいたします。

FAX番号072-422-8577



勉強会開催のアンケートを御願ひ致します。原木の製材以外の企画をしたいと思ひます。

1、 板の見方は如何ですか。白い木・赤い木・その他の木を、見て持って較べるのは。

はい

いいえ

2、 木の癖を見ませんか。例えば針葉樹のアテの使い方は。

はい

いいえ

3、 他に木材(現物)を見て知っておく勉強をしておきたい事はないでしょうか。ご自由にお書き下さい。

会社名	
担当名	
〒	
ご住所	
お電話番号	
F A X 番号	

(株)服部商店

服部雅章

T E L 072-438-0173